

普通徴収切替理由書【兼仕切り紙】

普通徴収対象者の給与支払報告書(個人別明細書)の上に添付してください

指定番号	
事業所名	

略号	普通徴収への切替理由(下記4項目以外の理由は不可)	人数
a	退職者	人
	給与支払報告書を提出した年の5月31日までの退職予定者	人
b	給与が少なく、個人住民税を特別徴収しきれない者	人
c	給与の支払期間や支払額が不定の者(例:給与の支払が毎月ではない・給与の支払額の変動が大きく、特別徴収できない月がある)	人
d	他から支給される給与から個人住民税が特別徴収されている者(乙欄適用者)	人
合 計		
※総括表の普通徴収(個人納付)欄の人数と一致していることを確認してください		人

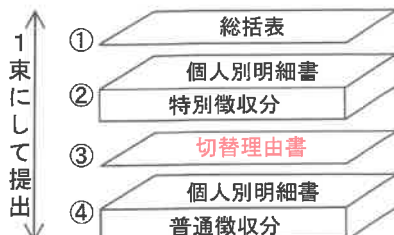
※普通徴収への切替理由に該当する方の給与支払報告書(個人別明細書)については、この普通徴収切替理由書の下に束ねてご提出ください。(上記の表と同様の記載があれば、任意の様式可)

※普通徴収切替理由書の添付がない場合は、特別徴収として扱います。

<提出時の綴り方>

下図のとおり特別徴収分と普通徴収分をそれぞれ束ね、1束にしてご提出ください。

- ① 給与支払報告書(総括表)
- ② 特別徴収分 給与支払報告書(個人別明細書)
- ③ 普通徴収切替理由書【兼仕切り紙】
- ④ 普通徴収分 給与支払報告書(個人別明細書)



<エルタックス(電子申告システム)や光ディスク等で提出の場合>

普通徴収への切替理由に該当する方については、図1のとおり、個人別明細書の摘要欄に該当する略号 a~dを入力することにより、普通徴収切替理由書【兼仕切り紙】の提出が不要となります。

※ 略号a~dに該当しない場合は、普通徴収にすることはできません。

- ① 略号aに該当する方のうち退職された方については、個人別明細書の退職欄に退職年月日の入力(図2参照)があれば、摘要欄の略号の入力を省略できます。
- ② 略号dに該当し、個人別明細書の乙欄に印を入れていただいている方(図2参照)についても摘要欄の略号の入力を省略できます。
- ③ 略号aに該当する方のうち5月31日までに退職を予定されている方については、摘要欄に退職予定日も合わせて入力してください。

(給与支払報告書 個人別明細書 抜粋)

図1

	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
内	普通徴収への切替理由の該当する略号a~dを入力してください。 (乙欄、退職日の入力があれば、略号の省略が可能です。)		
(摘要)	a ~ d	令和△年3月31日退職予定	
		退職予定者は、退職予定日を入力してください。	

図2

未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	乙欄	本人が障害者		寡婦	ひとり親	勤労学生	中途就・退職			
					特	その他				就職	退職	年	月
				○						○	△	10	31

<エルタックス(電子申告システム)を利用される場合の注意点>

普通徴収への切替理由に該当する方については、個人別明細書の摘要欄に該当する略号a~dを入力し、右下部にある普通徴収欄に必ずチェックを入れてください。

※ 略号の入力だけでは、普通徴収になりませんのでご注意ください。

(エルタックス 個人別明細書 抜粋)

図1と同様に、摘要欄に該当する普通徴収への切替理由の略号 a~dを入力し、普通徴収欄にチェックを入れてください。
※普通徴収切替理由書の送付は不要です。

	他の退職者のもとを退職した年月日	普通徴収	青色専従者	条約免除
	年 月 日			
	※妻者に係る徴収猶予の金額	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>